

平成28年度12月補正予算について

1 一般会計補正予算の概要

今回の補正予算は、産業振興基金を活用した補助金の創設など、9月補正予算編成後に新たに予算措置が必要となった事項を計上している。

(1) 補正予算額

(単位：千円)

既決予算額	28,917,218
補正予算額	417,535
補正後予算額	29,334,753

※ 財源不足は、以下のとおり拡大。

補正前	→	補正後
1,215,871千円	86,975千円増	1,302,846千円

(2) 補正予算（歳出）の主な内容

(単位：千円)

項目	補正額	説明
① 新産業創出支援事業費	375	産業振興基金を活用した補助金を創設し、特許権などの知的財産権の取得を支援するもの。
② 広域観光推進事業費	3,805	地方創生推進交付金を活用して、「日本版DMOの設立による稼げる観光地創生」を目指すもの。
③ 世界記憶遺産活用推進事業費	1,758	山本作兵衛・炭坑記録画をモチーフとした博多人形購入経費などを計上するもの。
④ 公債元金	86,000	新ごみ処理施設整備事業が共同建設へ移行することとなり、建設予定地も変更となったため、平成26年度に借り入れた地方債の繰上償還の必要が生じたもの。
⑤ 臨時福祉給付金給付事業費（経済対策分）	309,023	平成26年4月に実施された消費税率引上げによる影響を緩和するため、低所得者に対し、給付金を支給するもの。

※ 主な事業として5つを挙げている。

(3) 補正予算（歳入）の主な内容

各事業の財源となる国県支出金及び市債などを計上している。

(4) 繰越明許費

臨時福祉給付金給付事業費（経済対策分）の1件を追加している。

(5) 債務負担行為

議会会議録作成委託料などの18件を追加している。

2 特別会計補正予算の概要

(1) 補正予算額

(単位：千円)

会計名	予算額		説明
国民健康保険 特別会計	既決 予算額	7,647,477	高額医療費共同事業医療費拠出金が増額となる見込のため、不足分を計上している。
	補正 予算額	37,134	
	補正後 予算額	7,684,611	

(2) 債務負担行為

国民健康保険特別会計において、特定健康診査業務委託料などの3件を追加している。